

▼本を出版された青木さん（写真左）



健康で「楽しい老い方」を目指して

2月7日、愛荘町健康推進委員の青木 宏樹さんが、健康寿命を延ばす運動を全国に発信するため、還暦を迎えてからの自身の生活の記録をまとめた本『「老い方」道しるべ』を出版されました。

青木さんは、「70代をどう過ごすか」を出発点に、水泳や絵画、写真などの新しい趣味に挑戦するとともに、地域の高齢者福祉や国際交流の支援活動にも積極的に取り組んでおられます。

青木さんは、「目標があると元気が出ます。本を読んだ方が、『自分も今から何か始めてみよう』と挑戦し、生き生きとした生活を送ってもらえたら嬉しいです」と話されていました。



▼これまでの活動を報告する隊員



地域おこし協力隊 活動報告会

2月15日、「地域おこし協力隊の活動報告会」がゆめまちテラスえちで開催されました。

愛荘町では、9名の地域おこし協力隊が、それぞれの得意分野を活かしながら地域の方々と交流し、起業の実現に向けて活動しています。

活動報告会では、各隊員が現在の取組や、この地域で未来に向けて実現したいことについて、率直な思いを語りました。

また、報告会終了後には隊員との交流会も行われ、参加者は関心を持った活動について隊員と語り合い、交流を深めました。

▼作品を制作されたしごと総合科の皆さん



工夫がいっぱい！手織りの麻織物 成果作品展

2月14日から3月9日まで、「手織りの麻織物 成果作品展」がゆめまちテラスえちで開催されました。

この作品展では、愛知高等養護学校しごと総合科の2・3年生が、「自分が使いたいものを作る」をテーマに制作した作品が展示されました。

生徒たちは、花や野菜で染色した麻を縫い合わせ、コインケースやペンケース、トートバッグ、ベルトなどを制作し、「布がきれいに染まって嬉しかった」「実用的なものができてよかった。買い物や就職先で使いたい」と、作品づくりを振り返っていました。

また、作品展では織人育成研修生の方々の作品も展示され、来場者は工夫を凝らした作品の数々を楽しんでいました。

▼岡田さんの声に合わせて歌う児童たち



歌おう♪ あいがいっぱい愛知川小学校

2月17日、岡田 健太郎さんによる歌唱指導が愛知川小学校で行われました。

岡田さんは米原市在住のシンガーソングライターで、今回、愛知川小学校のイメージソング「あいがいっぱい愛知川小学校」を作曲されました。

このイメージソングは、6年生が学校改革プロジェクトの一環として提案したもので、「元気よく挨拶」「きらきら笑顔」「みんな輝き個性あふれる」など、児童たちが入りたいと考えたキーワードを岡田さんがアレンジし、作り上げたものです。

児童たちは岡田さんの指導のもと練習を重ね、のびのびと歌っていました。

▼今後も子どもたちが安心できる保育園を目指して



天皇陛下より御下賜金が下賜されました

2月25日、社会福祉法人稚の実会(秦川保育園)の浦部理事長と浦部園長が、天皇陛下からの御下賜金拝受について、有村町長へ報告されました。

御下賜金とは、天皇誕生日に際し、社会福祉事業の奨励を目的として、事業運営が優良な民間の社会福祉施設・団体に下賜されるものです。

今年度、県内の社会福祉団体で唯一の下賜団体となった同会は、2月21日に県庁で行われた伝達式において、県健康医療福祉部長より天皇陛下からの御下賜金を伝達され、その報告を受けた有村町長から、お祝いの言葉が述べられました。

浦部理事長は、「これからも選ばれた栄誉を自覚し、保護者や子どもたちが安心できる保育園づくりを心掛けながら、引き続き社会福祉事業に貢献していきたい」と話されました。

▼大会に参加した剣士たち



第59回愛知川少年剣道錬成大会

3月2日、第59回愛知川少年剣道錬成大会が愛知川体育館で開催され、県内の剣士たちが技を競い合いました。

愛知川剣心会は、決勝で前年度優勝チームと接戦を繰り広げ、代表戦で見事な一本を決め、4年ぶりの優勝を果たしました。

【結果】

優勝 愛知川剣心会 Aチーム

(近藤 壱樹、細江 ひかり、高野 葉輔、森 拓登、堀内 心菜)

▼楠神さんとサッカーのミニゲームに挑戦する児童



ようこそ先輩！愛知川東小学校キャリア教育

2月27日、元Jリーガーの楠神 順平さんを講師に迎えたキャリア教育講演会が、愛知川東小学校で開催されました。

児童たちは、卒業生である楠神さんから、Jリーガーを目指すまでの努力や挫折、成功の過程について話を聞き、「苦しい時に支えてくれた人は誰ですか?」「リフティングのコツを教えてください」など、積極的に質問をしていました。

楠神さんは、「好きなことを続けて、誰よりも努力してください。うまくいかない時もあると思いますが、あきらめないことが大切です」と力強いアドバイスが送られました。

また、講演会の後には、楠神さんと能登 正人さんとサッカーのミニゲームを行い、児童たちは楽しみながら交流を深めました。

この授業を通して、児童たちは「自分の未来を自分で切り拓くこと」の大切さを学びました。

▼悲惨な戦争を忘れずに次の世代へ



風化防止記録を寄贈いただきました

愛荘町遺族会が「風化防止記録 忘れないでね 戦争のこと」4冊を、愛知川図書館と秦荘図書館へ寄贈されました。

この記録は、終戦から80年が経過しようとする中で、戦争の惨禍が記憶から風化されることのないよう、語り継いでいくために遺族会が作成されたものです。

遺族会の皆さんは、日ごろから小学校での平和学習に協力され、次世代に戦争の悲惨さを伝える活動を続けておられます。

寄贈された記録は、愛知川図書館・秦荘図書館で貸し出しを行っています。ぜひ手に取ってご覧ください。